

# たがじょう

## 市議会だより



城南小学校  
「6年生を送る会」

**第1回定例会・第1回臨時会結果**

**平成29年度予算賛成・反対討論**

**一般質問**

**あんなことこんなこと議論の足跡**

**追跡レポート**

No.99

平成29年(2017年)  
5月1日発行

## 一般・特別・企業会計当初予算総額

505億8,800万円

会計の種類		29年度予算額	伸率
一般会計		284億5,000万円	5.1
特別会計	国民健康保険	71億800万円	△1.8
	後期高齢者医療	6億400万円	4.1
	介護保険	39億4,600万円	△1.4
	下水道事業	79億300万円	2.6
	小計	195億6,100万円	△9.1
企業会計	水道事業	25億7,700万円	4.8

伸率(%)は、平成28年度当初予算との比較です。

## 再生期最終年度の主な取り組み

## 創造的復興への取り組み

- 浸水対策下水道整備事業
- 緊急避難路・物流路(二路線)整備事業
- 宮内地区被災市街地復興土地区画整理事業
- 大区画ほ場整備促進事業

## まち・ひと・しごと創生総合戦略の取り組み

- 津波復興拠点整備事業
- 放課後児童健全育成事業
- 子ども医療費助成事業
- 子どもの心のケアハウス運営事業
- 小学校入学応援事業
- シティブランド・ブラッシュアップ・プロジェクト事業

## 【シティブランド・ブラッシュアップ・プロジェクト事業】

本市の地方創生重点事業の一つ。地域の歴史文化資源を活用した様々な文化プログラム(文化芸術事業群)を実施し、文化芸術が持つ創造性や多様性によって地域の魅力を磨き上げ、創造的復興の推進力となる事業。平成30年春開催の(仮称)東大寺展・プレ企画はその一環。

創造的復興への取り組みをさらに加速  
まち・ひと・しごと創生総合戦略の展開

# 平成 29 年第 1 回定例会結果

平成 29 年度の市の事業と予算を審議する第 1 回定例会が、2 月 13 日から 3 月 9 日までの会期で開催され、市民生活に密着した議案などを審議しました。

また、3 月 29 日には第 1 回臨時会も開催されました。

## 意見書

平成 28 年第 4 回定例会で委員会付託となった請願の審査結果を受け、市議会が国・県へ意見書を提出しました

### ◆東日本大震災被災者の医療費一部負担金免除及び介護保険利用者負担の減免を被災市町村の負担によらず平成 29 年度継続するための財政措置を求める意見書

本市においては、被災者の国保医療費一部負担金免除及び介護保険サービス利用者負担の減免について、市が一部の財政負担をすることによって平成 29 年度も継続することとしていますが、このような被災市町村の負担によらず、医療費の一部負担金免除及び介護保険サービス利用者負担の減免が実施できるよう、国・県において財政措置を講じることを要望します。

【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、宮城県知事

## 請願・陳情

市民のみなさんの声を直接議会に届けることができます。請願や陳情を活用してまちづくりへ参加しましょう。

### 請願

- ◆東日本大震災被災者の医療費一部負担金免除及び介護保険利用者負担の減免を被災市町村の負担によらず平成 29 年度継続するための財政措置を求める意見書の提出を要請する請願
- ↓上記のとおり意見書を提出しました。

### ◆中小企業・小規模企業振興条例制定に関する請願

- ↓平成 28 年第 4 回定例会で提出され、総務経済常任委員会で審査した結果が報告されました。その結果採択となりました。

- ◆国民年金等の削減をやめ最低保障年金制度創設等に関する意見書提出を求める請願書

- ↓平成 28 年第 4 回定例会で提出され、文教厚生常任委員会で審査した結果が報告されました。その結果不採択となりました。

### 陳情

- ◆東日本大震災による被災者医療等一部負担金免除の継続・復活を求める陳情書

- ◆平成 29 年度「給与所得等に係る市町村民税・道府県民税特別徴収税額の決定・変更通知書（特別徴収義務者用）」への個人番号記載の中止を求める陳情書

**第1回定例会 市長が提出した議案**

1	多賀城市個人情報保護条例の一部を改正する条例について
	行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正に伴い、関係する条例を改正しました。
2	多賀城市特別会計条例の一部を改正する条例について
	災害公営住宅の整備が平成28年度末で完了することに伴い、多賀城市災害公営住宅整備事業特別会計を廃止するため、関係する条例を改正しました。
3	ふるさと多賀城応援基金条例について
	「ふるさと・多賀城応援寄附」の用途等を明確化し、より有効に活用するための基金を設置しました。
4	多賀城市税条例等の一部を改正する条例について
	関係する法律の改正に伴い、消費税率を8%から10%に引き上げる際にあわせて実施することとされた関係規定について所要の改正を行いました。
5	多賀城市介護保険条例の一部を改正する条例について
	第1号被保険者保険料の減額賦課に係る保険料率について、平成29年度まで延長することに伴い、関係する条例を改正しました。
6	多賀城市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について
	平成29年10月から、本市の子ども医療費助成事業の対象を通院・入院ともに18歳の年度末まで拡大することに伴い、関係する条例を改正しました。
7	多賀城市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例について
	「農業委員会等に関する法律」の改正により、農業委員会委員の定数、農地利用最適化推進委員の定数等を定めました。
8	多賀城市駐車場条例の一部を改正する条例について
	多賀城駅南口駅前広場に設置する駐車場の供用を開始するにあたり、その名称、駐車料金等について定めるため、関係する条例を改正しました。
9	市道路線の認定について
	「宮内四号線」ほか12路線を市道として認定しました。
10	工事請負契約の締結について(清水沢多賀城こ線橋新設工事)
11	工事請負契約の締結について(平成28年度多賀城市津波復興拠点整備事業(造成工事))
12	平成28年度多賀城市一般会計補正予算(第5号)
	緊急避難路・物流路(清水沢多賀城線)整備事業、多賀城跡附寺跡特別史跡公有化事業の減額など、一般会計で8億6,096万1千円を減額しました。
13	平成28年度多賀城市災害公営住宅整備事業特別会計補正予算(第2号)
14	平成28年度多賀城市国民健康保険特別会計補正予算(第5号)
15	平成28年度多賀城市後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)
16	平成28年度多賀城市介護保険特別会計補正予算(第4号)
17	平成28年度多賀城市下水道事業特別会計補正予算(第4号)
18	平成28年度多賀城市水道事業会計補正予算(第4号)
19	平成29年度多賀城市一般会計予算
20	平成29年度多賀城市国民健康保険特別会計予算
21	平成29年度多賀城市後期高齢者医療特別会計予算
22	平成29年度多賀城市介護保険特別会計予算
23	平成29年度多賀城市下水道事業特別会計予算
24	平成29年度多賀城市水道事業会計資本剰余金の処分について
25	平成29年度多賀城市水道事業会計予算
26	工事請負契約の締結について(平成28年度公共下水道雨水工事(八幡-1-15工区))
27	工事請負契約の締結について(平成28年度公共下水道雨水工事(八幡-2-1工区))
28	工事請負契約の締結について(仙石線中野栄・多賀城間六貫田雨水幹線改築工事)
29	工事請負変更契約の締結について(平成27年度公共下水道雨水工事(明月-1-4工区))

**第1回定例会 議員が提出した議案**

30	東日本大震災被災者の医療費一部負担金免除及び介護保険利用者負担の減免を被災市町村の負担によらず平成29年度継続するための財政措置を求める意見書
----	---

**第1回臨時会 市長が提出した議案**

31	訴えの提起について
	破産手続中の保護受給者から市が生活保護費の返還を受けたことに関し、破産管財人が行った破産法第162条の規定による否認請求を仙台地方裁判所が認容決定したことについて、同法第175条第1項の規定により異議の訴えを提起することを議決しました。
32	平成29年度多賀城市一般会計補正予算(第1号)

# 第1回定例会 表決一覧

各議員が出した結論は

定例会結果

案件等の番号	自由民主党							日本共産党				公明党			民	市	新	無	審議結果	
	鈴木新津男	江口正夫	伏谷修一	米澤まぎ子	金野次男	森長一郎	吉田瑞生	中田定行	戸津川晴美	藤原益栄	佐藤恵子	阿部正幸	齋藤裕子	根本朝栄	雨森修一	昌浦泰巳	竹谷英昭	板橋恵一		
1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は公正中立の立場から表決に加わりません	原案可決	
2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		原案可決	
3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		原案可決	
4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		原案可決	
5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		原案可決	
6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		原案可決	
7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		原案可決	
8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		原案可決	
9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		原案可決	
10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		原案可決	
11	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		原案可決	
12	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		原案可決	
13	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		原案可決	
14	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		原案可決	
15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		原案可決	
16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		原案可決	
17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		原案可決	
18	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		原案可決	
19	○	○	○	○	○	○	議長代理のため表決に加わりません	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	欠(※1)	原案可決	
20	○	○	○	○	○	○		×	×	×	×	○	○	○	○	○	○		原案可決	
21	○	○	○	○	○	○		×	×	×	×	○	○	○	○	○	○		原案可決	
22	○	○	○	○	○	○		×	×	×	×	○	○	○	○	○	○		原案可決	
23	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	原案可決
24	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	原案可決
25	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	原案可決
26	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	原案可決
27	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	原案可決
28	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	原案可決
29	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	原案可決
30	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	原案可決
31	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※2	原案可決	
32	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※2	原案可決	

表示の説明 賛成は○ 反対は× 欠席は欠(※1 病気による欠席)  
 ※2 議長は公正中立の立場から表決に加わりません。  
 会派名 自由民主党=自由民主党多賀城市議団 日本共産党=日本共産党多賀城市議団  
 公明党=公明党多賀城市議団 民=民政クラブ 市=市民クラブ 新=新世紀クラブ  
 板橋議長は公正を期するため無党派になります。

賛成

発展期に向けて、創造的復興の加速化と

「まち・ひと・しごと」創生総合戦略を推進する予算

自由民主党 江口正夫

平成29年度当初予算は、創造的復興の加速化と創生総合戦略を推進する積極的な大型予算であります。子育て支援策として、地域社会と共に子どもを育てる「地域子育て支援事業」や「放課後児童健全育成事業」、さらには「子ども医療費助成の18歳までの拡充」、「小学校入学応援事業」等は少子化対策として評価します。

また、「被災者の国民健康保険医療費一部負担金免除」「介護保険利用者負担額の免除」の継続を評価します。障害者の安心な生活のために、緊急時の相談や受入支援の新たな施設を整備する「地域生活支援拠点等支援事業」も評価します。

学校教育の充実では、児童生徒のいじめ等の対策として、スクールソーシャルワーカーの配置増や「心のケアハウス」の新たな設置を評価します。「小中学校区編成事業」による学区再編の検討が開始され、通学の利便性、安全性及び地域活動の容易性等、多面的に検討されることを期待しま

す。

農地の集積・集約化の促進等、将来の農業のあるべき姿への取り組みを評価します。創生総合戦略では、東大寺展・文化プログラム開催、グルメブランド拡大戦略等の観光振興策は、人的交流増による経済の活性化に向け、評価します。下水道事業は雨水・浸水対策が着実に進められ、安心な市民生活の基盤を向上するとして評価します。

水道事業では、安心安全な水の供給のため、施設設備の更新・耐震性の向上への取り組みを評価します。創造的復興の主要事業は津波復興拠点整備、2本の緊急避難路整備、宮内地区土地区画整理、大区画ほ場整備促進等であり、さらなる加速化を期待します。

結びに、平成29年度当初予算は市民の期待に十分にこたえる予算と評価し、賛成します。

賛成

創造的な復興に向けて、未来を育む復興まちづくり予算

公明党 阿部正幸

公明党市議団を代表して、一括賛成討論を行います。平成29年度は、多賀城市震災復興計画に定める「再生期」の最終年度となり、平成30年度からの「発展期」へ向けた、

確かな手応えを感じる年になるよう、市長をはじめ職員の皆様の特段のご努力をお願いいたします。

始めに、震災関係の事業ですが、本市独自の「住宅再建補

# 反対討論

# 賛成

# 新年度予算

助事業」や住まいと暮らしの再建に向けたきめ細かな相談対応などの事業を継続するとともに、被災者現況調査などの結果を踏まえて、被災された方々の健康支援やこころのケアについての取り組みを行うこととなっています。これらの事業を高く評価するとともに、生活再建支援室をはじめ、関係部局の皆さんのご努力に敬意を表します。

子育て支援の充実につきましては、小学校に入学する第3子以降の子どもの保護者に対する入学祝いとして、「小学校入学応援事業」を新たに実施するとともに、「子ども医療費助成事業」につきましては、平成29年10月から、通院及び入院とともに高校3年生まで拡大し、子育て支援の充実を図るこ

とになりました。

学校教育の充実につきましては「子どもの心のケアハウス」を新たに設置するなど、不登校・いじめ・心のケア等に関する支援体制の拡充は大変素晴らしい取り組みであり、児童生徒や保護者等の不安解消に繋がるよう期待をいたします。

平成29年度予算全体をみてみますと、創造的な復興に向けて、未来を育む復興まちづくりを進めようとする菊地市長の決意があふれており、評価できる予算となっております。

菊地市長のリーダーシップを心からご期待申し上げ、賛成討論いたします。

## 反対

### 新たな財源は被災者と市民のために

日本共産党 佐藤 恵子

平成29年度予算の最大の特徴は新たな財源（災害公営住宅家賃低廉化事業）が明らかになったことで、見込額は今後10年間で52億円、20年間で82億円とのことです。本市の厳しい財政状況では財政好転のために一定程度使わざるを得ませんが、交付金の趣旨からも被災者や市民のために使うべきで、その立場の予算になっていません。

の拡充、放課後児童クラブの小学校6年生までの受け入れ拡大、学校の大規模改修等は評価します。しかし、準要保護の収入基準は生活保護基準とほぼ同額で、基準緩和が必要です。教師用パソコンも「平成29年度予算で一気にと」言っておりましたが3校残してしまいました。

①被災者支援については被災者医療費自己負担免除措置継続をいち早く表明したことは評価します。しかし、宅地住宅かさ上げ補助のように、実績が3年間ゼロの事業もあります。メニューの再検討もし、国からの基金は有効に活用してください。

②貧富の格差が広がり、くらし応援の事業が重要になっていきますが、低所得者への上下水道料金の基本料金免除や市民バスの100円化は未実施です。

③子育て支援と学校教育では、子ども医療費助成の18歳まで

⑦市長は3億7000万円をかけ東大寺展をやるつもりですが、まず多賀城として考えるべきは、多賀城創建1300年事業です。

④70歳から74歳までの自己負担2割化、後期高齢者保険の低所得者への保険料軽減措置縮小には反対します。

⑤図書館は、郷土資料リストが無いなど図書の整理が不十分で、調べるための図書館にはなっていません。

⑥放射線汚染廃棄物は燃やすべきではなく、懸念される仙台海での火力発電による大気汚染問題では市長は、率先して行動すべきです。



日本共産党 佐藤 恵子

1 仕事おこしについて  
2 災害公営住宅家賃について  
3 雇用対策について

**一問** 震災集中復興期間が終了し、復興特需が一段落する中で復興需要の減少があり、中小零細企業の倒産が増える恐れがあると言われています。また、建設業者の中から、官公庁の工事を受注している業者は仕事があるが、他は大変という声もあります。これらを踏まえ、今から仕事おこし対策を講じるべきではないでしょうか。熊本地震を教訓として、木造住宅耐震化率が62%の現状を認識し、耐震化率推進のために現行の補助制度の拡充と住宅リフォーム助成制度を導入してください。

**答** 木造住宅の耐震化は、市民の安全安心を守る事業であり、これまで同様引き続き推進します。住宅リフォーム助成については、改めて実施する考えはありません。

**二問** 災害公営住宅の家賃については、現在5年間の特別低減措置が講じられていますが、この措置を継続するよう国に働きかけてください。



**三問** 略

**答** 災害公営住宅の家賃低減期間の延長は、今後とも市長会はもとより県とも連携し、様々な機会を通して国に要望していきます。



日本共産党 藤原 益栄

1 多賀城創建1300年事業について

**一問** ①多賀城1300年の歴史を振り返り祝うことは、多賀城に誇りをもっていたいただき、魅力を内外にアピールする絶好の機会です。しかし、市長からは何らの言及がありません。どう考えておられますか。②直ちに組織を立ち上げ、構想を練るべきではありませんか。③3億7000万円をかけ東大寺展を予定していますが、1300年祭にはいくらかける予定ですか。東大寺展は見直しが必要と思いませんか。④事実上、国・県の共同事業である南門の復元はどう考えていますか。

**答** 多賀城跡附寺跡は国が指定した特別史跡であること、発掘調査や環境整備は文化庁との連携のもとに県が行っていることから、国・県を含め官民を挙げて取り組むべきものと理解しています。②今後、関係機関・団体の意向を踏まえて検討します。③東大寺展は、内閣総理大臣から認定を受けた地域再生事業であり、東大寺、県教



多賀城跡外郭南門イメージ図

育委員会、河北新報社、仙台放送、日本経済新聞社と実行委員会を組織し、「東日本大震災からの東北の創造的復興」をテーマに実施していくものですので、その枠組みを見直すことは考えていません。④宮城県との連携を密にし、南門の復元と併せて整備が必要となる周辺施設等の関連事業について平成29年度に概要を取りまとめます。





## 1 交通安全道路の確保について

民政クラブ 雨森 修一

**一問** 今日、地域住民の日常生活に利用されている生活道路において、交通安全を確保することは重要な課題と考えます。市道留ヶ谷線中央3丁目16とくぼつともつと中央店前の道路改良についてですが、5～6年前より、この地点においては車両の通行上、大変困難と危険な場所として多くの市民より苦情が聞かれます。安心で安全な道路を確保するために、市は具体的にどのような解決策を進めているのか伺います。

**答** 御指摘の区域については、道路改良事業による地権者との用地交渉を平成19年9月より進めておりましたが、商業施設の補償内容に折り合いがつかず、交渉が中断したため、現在のような形状になっております。道路用地としての買収が見込めないことから、車両の通行方法などを塩釜警察署と協議し、やむを得ず、現在の線形で整備したものです。つきましては、多賀城地区連続立体交差事業の完



成や多賀城駅周辺の市街地整備も進み、周辺環境も大きく様変わりしておりますことから、用地交渉の再開及び事業化に向けて準備を進めているところでございますので、御理解いただけますようお願い申し上げます。

**一問** ①保育士不足を解消するには、全産業平均と9万円もの差がある保育士の賃金の改善とともに国の保育士配置基準等を見直すことが必要であることを国に強く要請していただきたいと思いますが、いかがですか。②待機児童の解消策としては、5歳まで保育できる認可保育所を基本として、国が進める保育士資格に関する規制緩和による解消策はとるべきではないと思いますか、いかがですか。

**答** ①国は、保育士等の処遇について、全産業の女性労働者との賃金差の解消を目的として一定の研究を受けることを条件に、月額4万円程度の追加的な処遇改善を行うとしております。また、保育士配置基準につきましては、保育時間等の基準が実情と乖離していることなど、国に改善を求めてまいります。②保育士配置に係る資格等の規制緩和については、市内の認可保育所等においては、保育の質の確保の観点から、緩和された基



## 1 保育環境の改善について 2 高齢者の福祉増進について

日本共産党 戸津川晴美



準を適用する考えはないと伺っております。

**二問** 「いつまでも元気に暮らしたい」という高齢者への足の確保策として、65歳以上のバス料金は市内は100円としてはどうでしょうか。

**答** 本市では、負担の公平性やバス路線の維持・継続性の観点から、路線維持のためには現在の運賃を継続せざるを得ないことを御理解願います。



自由民主党 伏谷 修一

1 多賀城市内小中学校のICT教育と英語教育について  
2 多賀城のまちづくりに必要なスポーツ振興について

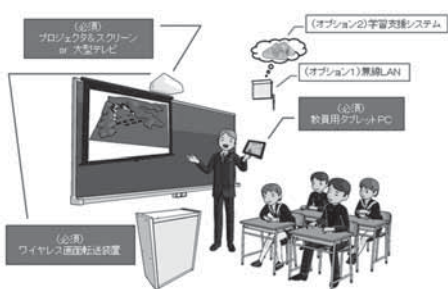
**一問** 本年2月に発表された次期学習指導要領の改訂案から、本市のICT教育並びに小中学校での英語教育の現状を踏まえ、ICT機器等デジタル教材の導入、ALITを含めた指導員・支援員の増員等々、3年後の完全実施に向けて、学習環境を整えるべきだと考えますが、見解を伺います。

**答** 次期学習指導要領では、普通教室でICT機器を活用した主体的で深い学びの学習が想定されていることから、先進地事例等を十分に研究し、ICT機器導入の検討をします。また、小学校における英語の教科化を見据え、専科指導者の加配導入等について県に要望していきます。

**一問** 運動機能を高める健康づくりの環境をスポーツを通して整備し、多賀城のまちづくりに活かすべきと考えます。スラックラインやボルダリングは、体幹を鍛える効果があり、特にボルダリングは

経験を問わず取り組みます。市内の公共施設を活用して育成スポーツにすべきと考えますが、見解を伺います。

**答** 本市では、健康増進の観点から、特定のスポーツに限定せず、スポーツがライフスタイルに取り入れられるよう工夫しています。また、オリンピックとの触れ合いを通じ、トップアスリートになることへの夢を持つ機会を積極的に設けています。



一斉学習における「MIYAGI Style」の展開  
(宮城県教育委員会ホームページより)



自由民主党 金野 次男

1 貞山運河「御舟入堀」環境整備について  
2 健康づくりの推進について

**一問** ①平成27年、多賀城市緩衝緑地、平成28年、貞山公園へ「桜植樹」計83本。現状と枯植の対応について伺います。②大代の橋本橋から南「通称・中ノ島」石積み復元工事はなぜ着工しないのですか。また、将来、中ノ島は多賀城の観光名所となる「石積・さくらの森」を目指して桜を植樹するべきではないでしょうか。

**答** ①貞山運河再生復興幹部会議の下部組織である桜植樹部会で地域住民やボランティア、協力企業の連携により植樹しています。枯れた木は植え替えとなります。②県が平成29年度に着手する予定です。県の桜植樹計画で中ノ島へも植樹予定です。

**二問** ①健康診査実施会場(笠神会館等の受診環境の工夫、及び特定健康診査受診率の推移について伺います。②保健師の世代交代が進んでいるようですが、在職年数はどのようになっていますか。

③保健指導は経験・体験による部分が非常に大きいと思っておりますが、職員の育成はどのように考えていますか。

**答** ①笠神会館については、平成29年度に会場を多賀城東小学校に変更する予定です。受診率は、平成25年度39.3%から平成27年度48.4%となっています。②10年末満10名、20年末満1名、30年末満4名、30年以上1名です。③研修、現場指導、各種勉強会を通じて育成に努めます。



大代中ノ島「石積・さくらの森」



自由民主党 米澤 まき子

1 図書館利用申込み性別欄削除と通称名使用  
2 男女共同参画推進計画の中間案の見直し

**答** 県の第三次男女共同参画基本計画案のポイントでもある「LGBTへの配慮」、「震災復興の担

**二問** 県は、新年度から第三次男女共同参画基本計画案をまとめ、復興・防災における女性の参画と性的少数派への配慮を盛り込みました。しかし、本市の推進計画は、策定期間の中間案として見直しが必要で、理念を市内全域に浸透させるべき社会情勢の変化に対応すべきと考えますが、いかがでしょうか。

**一問** 図書館利用申込書の性別欄削除と図書館利用券に通称名使用が可能ではないかという質問に、1年が経過した今現在、対応の変化があったか伺います。

**答** Tカード機能付きの図書館利用カードについてはT会員規約の制約があり、氏名の自署が必要なため対応困難ですが、Tカード機能のない従来型の図書館利用カードについては柔軟な対応をしております。



男女共同参画推進事業「たが女子会」

い手として女性のチカラを最大限に発揮できる社会の実現」、さらには、女性活躍推進法に基づく女性の職業生活における活躍についての推進計画をも一緒に盛り込んで本市基本計画の見直しを進めながら、これらの理念が浸透するよう普及啓発型の事業実践に取り組んでまいります。



公明党 阿部 正幸

1 大気汚染測定局設置について  
2 市内中学校吹奏楽部活動の充実について

**答** 中学校の備品である楽器については、市制施行40周年事業として

**二問** 市内中学校吹奏楽部は、学校行事、地域行事など幅広く活動しております。楽器の老朽化による修理費用は、保護者(親の会)等で負担していますが、修理費用が高いため、修理できずに不具合のまま使用している楽器もあります。これらの課題解決のため、今後の取り組みについて伺います。

**答** 大気汚染観測局は、過去に山王地区に設置されておりました。測定数値が良好なため集約により廃止とされた経緯がありますが、今後、市内設置に向けて強く働きかけてまいります。

**一問** 宮城県内には38カ所に大気汚染測定局がありますが、本市には設置しておりません。健康被害を心配する市民に対して安心して生活ができるように、本市にも大気汚染測定局を設置していただくよう宮城県に対して強く働きかけていただきたい。



標準楽器(ピストン4本)



約30年前の楽器(ピストン3本)

て、平成23年度に1400万円の予算で市内全中学校に整備した際、併せて修繕も行いました。しかしながら、修理費用等の継続的な支援についても必要であると認識しておりますので、他の学校備品も含めた全体について状況を確認のうえ、計画的な修繕が行えるよう考えてまいります。



日本共産党 中田 定行

1 国保県単位化と保険税の引き下げ  
2 放射能汚染廃棄物処理問題について

一問 ①国保県単位化で市の自治権は保障されますか。保険税負担と医療費が直結することや保険税が県下統一される心配はありませんか。県と市町村の協議・検討内容を明らかにし、市民の声を反映するべきではありませんか。②国の支援金や基金を使い国保税を引き下げるべきです。

答 ①保険料水準の統一については、平成30年度からの実施は難しいとの県の判断で協議継続となっています。②国の支援制度は国保財政の安定化を図るための制度です。保険給付費に充てるほか、医療費抑制のために、脳健診や予防接種助成などの保健事業に活用します。

二問 ①市町村長会議の内容と市長の発言を明らかにしてください。②市長は今後どう対応しますか。③市町村担当者会議では、どんな議論がされましたか。④市民に対しての説明をどうするつもりですか。

答 ①仙台市長から、全県一斉焼却で一致できなければ焼却の受け入れは難しいという意向が示され、同様の意向であることから、あえて発言はしませんでした。②堆肥化、すき込み、林地還元による処理基準や方法、補助金の概要等の説明がありました。③再び全県一斉焼却の方向性が示されるようならば、実証実験の結果を踏まえて、住民説明をどのように実施すべきか検討します。



自由民主党 江口 正夫

1 水道事業の経営健全化の推進について  
2 障害者差別解消法の充実について

一問 県は、広域上水道と下水道、工業用水の3事業を一体化し、民間と運営権契約を締結し、みやぎ型管理運営方式の検討を発表しました。厳しい経営状況の中、本市の水道事業も経営健全化の推進が求められています。①県の新方式の概要と影響は。将来の方向性は。②今後の経営戦略は。③民間への業務委託の拡充と課題は。④平成32年度の料金改定の考えは。

答 ①県は、民間活力を最大限発揮できる仕組みを取り入れた長期包括共同経営としています。市は高い公共性を確保するために県が主体的権限を保持するように求めています。②多賀城市水道事業経営戦略を平成30年度に策定予定です。③広域化の議論の中での民間活力導入が課題です。④経営効率化に向けた調査研究をしながら料金改定に取り組めます。

二問 昨年、障害者差別解消法が施行され、差別を禁止する具体的な対応が求められています。①差別解消法の整備状況は。②市民等への周知は。③差別の実態把握は。④支援地域協議会の設置は。

答 ①ガイドラインを平成28年度末までに策定します。②広報たがじょう、市ホームページ、パンフレットにより啓発します。③不利益を受けたという相談は今のところありません。④既存の委員会を活用します。



多賀城市新水道ビジョン



公明党 齋藤 裕子

1 子育て支援について  
2 防災対策強化について

**一問** 子どもが安全に安心して暮らせる生活環境の中で、移動や施設利用時に妊産婦・乳幼児連れの方の外出環境整備が重要です。市役所に来られる乳幼児連れの方に、安心して相談や手続きが行えるように、おむつ替えや授乳等のために気軽に立ち寄れるスペースである「赤ちゃんの駅」の本庁舎設置推進についてのお考えを伺います。

**答** 本市では、赤ちゃんほっとステーション事業を推進しております。庁舎内設置については、おむつ替え授乳室は専用室を設けることが困難であることから、ご要望があった時にはロビー案内を通し、会議室などに案内します。さらに、子育て支援課の一角にカーテン仕切りによる授乳コーナーを設置し、整備を図っております。

**二問** 東日本大震災での事例を踏まえて災害時のトイレ対策の充実強化を図り、安心して使用できるトイレの環境整備が必要です。本市の避難所となる施設や小中学校



赤ちゃんほっとステーション

等にマンホールトイレの設置を今後計画的に推進してはいかがですか。

**答** 多賀城市においてはほぼ全域が公共下水道供用開始区域となっており、今後の法の解釈の動向においては変わってきますが、現段階の法解釈においては難しいと考えます。現計画を継続して推進することを考えています。



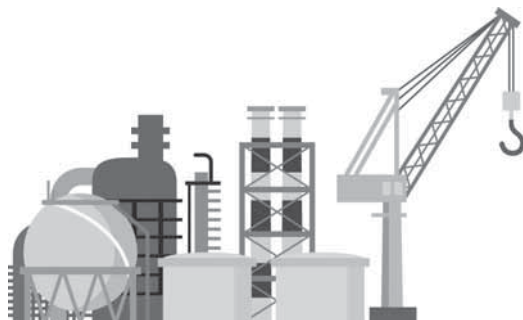
市民クラブ 昌浦 泰巳

1 本市の産業振興策について

**一問** 2月13日の市議会冒頭に行われた市長の施政方針演説から、特に関心を持ち、昔日の工業の街多賀城をよみがえらせられないか、将来の多賀城市税収の一助になるのでは、との思いから、本市の産業振興策について質問しました。

①多賀城駅を中心とした「まちづくり促進特区」と、ものづくり産業集積区域である「工場地帯」との相乗的な活性化を促す策とは、どのようなものでしょうか。②工場地帯の現状は分析されておられますか。新たな企業誘致は可能でしょうか。③さんみらい多賀城・復興団地に続く産業・工場用地造成のお考えはありますか。

**答** ①本市の中心市街地は、工場地帯で働く方々が飲食や買い物をする事によって支えられてきた側面があります。工場地帯の復興により新たな雇用が図られることで、交流人口が増加し、相乗効果によって、経済効果につながると考えています。②工場地帯の未利



用地は、民有地であるため、市が直接関与して企業誘致することは難しいところですが、今後もできる限り地権者と情報交換を行い、様々な優遇策を活用しながら、未利用地への企業誘致を進め、既存企業の投資促進と雇用確保が行われるよう努めます。③現在のところ、新たな産業・工場用地造成についての検討はしておりません。



4 3 2 1

自由民主党 森 長一郎

防災対策について  
障害者福祉について  
空家対策について  
国道整備について

一問 ①市長の提唱していた、国立「津波ミュージアム」の誘致について伺います。②活力ある中学生が日頃から訓練や活動ができるように防災ジュニアリーダーの育成を望みます。

答 ①先般、東北大学災害科学国際研究所に赴き、誘致について一定の理解を得ました。②学校において計画的・継続的に防災教育を進めます。

二問 障害者専用駐車スペースを必要とする人に自治体が利用証を交付し、不適切な駐車を抑制し公共施設等の駐車場の適正な利用を図るパーキングパーミット制度の導入を願います。

答 本制度は、広域的に取り組むことが効果的であるため、県に対して導入の働きかけをしております。

三問 空家等対策計画策定の進捗状況と今後の方向性を伺います。

答 庁内関連部署で協議を深め、

平成29年度中に計画を策定します。

四問 国道45号線下馬付近の歩道拡幅、無電柱化工事で歩道と車道の一体化の危険性、また、交差点2カ所の巻き込み事故の危険対策を願います。

答 当該工事は、国土交通省が進める電線共同溝化及び歩道の整備工事です。現在は工事中ですが、歩道整備工事が完了すれば境界ブロックが設置されます。巻き込み事故の危険対策は、同省に申し入れています。



国道45号線下馬付近

建設水道常任委員会

復興事業現場視察

(津波復興拠点整備、清水沢多賀城線、笠神八幡線の3整備事業)



建設水道常任委員会は、平成29年1月25日に復興交付金3事業の現場視察を実施し、進んでいる状況と作業中の工程について、現場責任者から説明を受けました。

津波復興拠点整備の事業内容は、稼働している松島蒲鉾の工場も視察しながら、土埃対策の液剤散布の効果があることなどを確認、清水沢多賀城線の橋梁部基礎工事と砂押川橋梁区間の作業工程についても仮設橋上から視察をしました。

笠神八幡線については、市宮鶴ヶ谷住宅上層階より、始点となる桜木地区から終点の多賀城高校付近までの全体を見渡すことができ、委員は盛土工事など、それぞれの区間について説明を求めました。東日本大震災調査特別委員会などで復興事業の説明を受けているものの、百聞は一見に如かずとの声もあり有意義な視察となりました。



# あんなこと こんなことと議論の足跡

議会では、市長の提出案件が市民の生活へどのように寄与するのか、ひとつひとつ質疑を通して審議を深め、採決に臨みます。

第1回定例会では、補正予算特別委員会及び予算特別委員会において、当局との間で主として次のような質疑が行われました。

## ◆補正予算特別委員会◆

### 地方交付税の減額について

質 国からの地方交付税収入が、約4億6千万円減額されていますが、当局の見込みどおりと考えていますか。

答 今年度に計画していた予算規模の大きな下水道事業の着手を、次年度に先送りとしたことによるものです。

質 発展期に向けて、復興の加速化に影響があるのではないのでしょうか。

答 特に、影響はありません。復興交付金事業は、この地方交付税を含めて100%、国の資金で行われています。次年度に先送りとした下水道事業を計画どおり行うことにより、今回減額した地方交付税は、次年度において改めて国から補助されます。

### 生活再建支援制度・ 基礎支援金について

質 生活再建支援制度の基礎支援金(※)の申請期限は、現在どのようになっていますか。

答 1月17日開催の県内市町担当課長会議において、平成30年4月10日まで1年間延長の県方針が示されました。

質 基礎支援金の未申請世帯への対応は、どのように推移していますか。

答 未申請世帯81世帯のリストに基づき、わかりやすい制度説明チラシの送付や訪問による制度説明を展開しております。その結果、2月の訪問状況により54世帯(27世帯減)の未申請の状況となっています。27世帯減の内訳は、申請済13世帯、辞退5世帯(既に自立しているため申請辞退)、非該当9世帯(被災時生活実態なし・施設入所等)です。(3月1日現在、対象6、284世帯のうち6、237世帯申請、申請率99・25%)

質 今後、どのように制度利用の周知を図るのですか。

答 制度未申請の世帯には、わかりやすいチラシによる戸別訪問を行っていますが、高齢の方などには制度の御理解をいただくことが、難しい場合もあります。そのため、御家族の方に制度説明の場に同席していただくなど、状況に応じて対応し、制度利用・申請につなげていきます。

※①基礎支援金↓被害の程度に応じて支給(全壊100万円、大規模半壊50万円、長期避難地域(津波浸水区域)100万円)

②加算支援金↓基礎支援金受給世帯の住宅再建方法に応じて支給(建設・購入200万円、補修100万円、賃借50万円)

なお、①、②とも被災時単身世帯の場合はそれぞれ4分の3支給

### いっすい 溢水・汚水問題について

質 台風や大雨などで起きる溢水・汚水問題の対策はどうなっていますか。

答 県は、仙塩流域下水道管内溢水対策連絡調整会議を平成29年1月までに4回開催し、仙塩流域浄化センター(大代)に仮設ポンプを4台設置しました。また、市・町に対して、原因を絞り込むための誤接続調査(※)等の支援を行う等の措置を講じています。

※誤接続調査↓雨水管が誤って汚水管に接続されているかを調べること

## ◆予算特別委員会◆

### 小学校入学応援事業について

質 平成29年度実施予定の第三子以降のお子さんの入学祝金として支給される3万円相当の多賀城・七ヶ浜スタンプ会共通商品券の使途は自由ですか。期限は決められていますか。

答 対象登録店舗は約100店舗ありますので、使途は自由で、無期限となります。店舗数の拡大も交渉中です。



多賀城・七ヶ浜スタンプ会共通商品券

質 対象世帯は何世帯ですか。  
答 予算上では110世帯を予定しています。

質 単年度の事業ではなく、今後も実施していただけますか。  
答 県の支援事業を活用していますので、県の取り組みに沿って、今後進めてまいります。

### 子どもの心のケアハウスについて

質 新規事業の一つ、子どもの心のケアハウス事業についてですが、指導者は教職員の資格を持っている方ですか。

答 持っている方です。学びの支援員については、専門性、知識、経験を有している方になります。

質 万全の態勢で取り組む子どもの心のケアハウス事業を始めるにあたり、今後、塩竈市のけやき教室はどのようになるのですか。

答 現在、けやき教室に通所している子どももおりますので、今までどおり継続していきます。

質 場所はどこですか。また、広さはどれくらいですか。

答 多賀城駅周辺で、広さは約30平方メートルのところを予定しております。

### 放課後児童健全育成事業について

質 新年度から小学6年生までが対象となりますが、増加する児童数は、どの程度ですか。

答 全体として、最大200人の定員増となります。



放課後児童クラブ

質 そのための児童クラブ施設整備は。

答 山王小に第2・第3クラブを新設するほか、城南小では、第3・第4クラブを、多賀城東小では、現在のクラブを増築し、第3クラブを開設します。

質 クラブ増設に伴う職員配置は。

答 1クラブ2名配置を基本とし、増設に応じて対応してまいります。

### 地区公民館エレベーターについて

質 山王、大代地区公民館において、老朽化対策と高齢者の方々のバリアフリー化の推進として、皆さんが使いやすい公民館にしていただくためにエレベーターの設置を考えてはどうですか。

答 山王地区公民館は老朽化が進んでおり、大代地区公民館も多くの人が集まることから、高齢者の方々が苦勞されていることは理解しています。エレベーター設置については、公共施設等総合管理計画の中で検討します。

質 老朽化や災害地域の状況をみて、今後早急に計画性をもって整備を考えるとはいかがですか。

答 老朽化に伴い大規模改修改造も予定し、他の施設も含めて総合的に考えてまいりたいと思います。



山王地区公民館スロープ

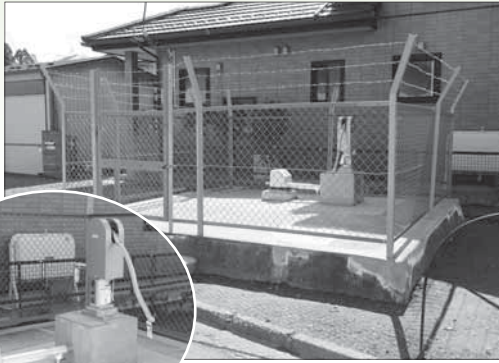


## 非常用水源について

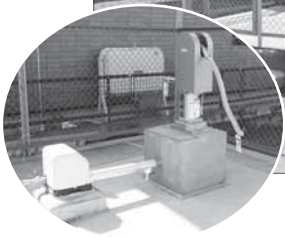
**質** 大震災時、飲料水・生活用水に大変困りました。給水車1台、可搬式給水タンク4台体制で十分ですか。

**答** 現在、市が保有している車載用給水タンク等を活用するほか、災害時相互応援協定を締結している多賀城市管工業協同組合、(社)日本水道協会宮城県支部の各水道事業者とも連携して、応急給水活動等に対応できる体制を構築しています。

**質** 新田地区にある簡易水道の井戸を生活用水に利用することについて進捗状況はどうなっていますか。



非常災害用井戸



**答** 新田公民館に隣接している遊休施設である旧西部簡易水道水源井等を災害時における飲料水以外の生活用水として、トイレや清掃等に有効活用できる施設として整備を進めておりました「非常災害用井戸」については、平成29年4月から利活用できます。

**質** ポンプの維持管理はどうなるのですか。

**答** 地域活動における常時利用や電動式と手押し式の切り替え等の使い勝手を考慮し、新田地区の皆さんの御協力をいただきながら、維持管理を行ってまいります。

## 興の井の水質改善について

**質** 興の井の水質改善が、平成29年度から3カ年計画で整備されますが、その概要はどのようになっていますか。

**答** 興の井は、「奥の細道風景地」の国の名勝地であり、水質の汚濁が問題となっています。そこで、水質改善の工事を優先的に行いますが、大きく3点の整備を行います。①水道水の水質保全を目的に実施している管理用水の放流先を興の井に利用することで水質を改善します。②周辺は住宅地であり道路も狭いことから、安全に見学でき

るように小さなデッキを設けます。

③転落防止柵と新説明板を設けます。

④景観向上のため、一部目隠しフェンスを設けます。

**質** 整備費用の財源は何ですか。

**答** 整備のための国の補助制度は各種ありますが、最も有利な社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)を充てることにしました。



整備後の興の井 (イメージ図)

## ドローンの購入について

**質** ドローンを購入する予算を計上していますが、どのような事業での活用を考えていますか。

**答** 第一の活用目的は、発掘調査の航空写真です。航空撮影を委託するよりも作業の効率化と作業量の軽減が図られます。

**質** 操縦には相当な熟練が必要かと思えますが、どのように対応しますか。

**答** ドローンの飛行には、資格や免許は必要ありませんが、市内では、市川、山王、南宮の一部区域を除き、市街地は国土交通省の許可が必要になります。許可を得るには、操縦者は10時間以上の飛行経験が必要とされているので、職員であれば相当の練習をして操縦することになります。また、運用に際しては、国土交通省で策定した無人航空機の安全な飛行のためのガイドラインを遵守して運用します。

**質** 市役所から遠隔操作して目的地でドローンを飛ばすのですか、または、ある程度目的地に操縦する人が行って操縦するのですか。

**答** 国土交通省の運用のガイドラインにより、目視可能な範囲での操縦に限るとなっていますので、撮影のポイントに操縦者が行って、見える範囲での飛行運用になります。



# 追跡レポート

## 市営鶴ヶ谷住宅自治会が発足しました！

平成28年3月15日から入居が始まった市内3番目の災害公営住宅となる市営鶴ヶ谷住宅。入居後は集会所での交流会を19回、みんなのリビングを使用した交流会を8回開催したそうです。交流会に参加した皆さんは延べ440名にも上り、交流を深められたそうです。

この交流会を経て8月からは「入居者自治会設立準備会」が始まりました。集会所の使用法や住宅内の清掃など自治会活動に関心を持っている方も多く、市内の災害公営住宅の中で最大世帯数を有し、様々な世代が暮らしている、この鶴ヶ谷住宅が、誰にとっても住みやすい場所になるようにとの思いで、自治会の会則や役員人事案、予算案などについて話し合いを重ねたそうです。

半年近く続けられた準備会を経て、平成29年1月29日には市営鶴ヶ谷住宅自治会設立総会が開催されました。当日は100世帯を超える住民が鶴ヶ谷住宅集会所に集まり、自治会活動の一步を踏み出しました。

現在は、自治会役員を中心に、集会所の使い方、清掃活動や駐車場管理の方法、自治会費集金など、自治会運営を行う上で必要な決まりごとが話し合われています。



(レポーター 齋藤 裕子)



# 今回の表紙

## 6年生を送る会

今回の表紙は、城南小学校「6年生を送る会」です。

「6年生を送る会」は、5年生だけの参加で行われる「卒業式」と違い、1年生から6年生まで全児童が一同に会し、6年生の卒業をお祝いし、感謝の気持ちを伝える行事としてどの小学校でも取り組まれています。今回は、城南小学校の様子をお伝えします。

3月3日(金)3校時目の城南小学校体育館。まず入場してきたのは、にこにこ顔の1年生と手をつなぎ、ちょっと照れくさそうな6年生です。体育館に響く在校生や先生たちの温かい拍手の中、3年生が作ってくれた花飾りのアーチをくぐっての入場でした。

その後、各学年から工夫をこらし、心のこもった感謝の言葉、「それが大事」の歌でのエール、手作りペン立てのプレゼント。そして、6年生は、「思い出インタビュー」に答え、最後に素晴らしい歌でお返ししました。

全ての準備、役割分担は、計画委員の5年生が中心となり進められたとのこと。5年生の皆さん、ご苦労様でした。6年生の皆さん、今まで本当にありがとうございました。

中学校でも、どうぞ元気に活躍されますように！

(レポーター 戸津川 晴美)



# 私もひとこと

議会を傍聴したみなさんからの感想や意見です。

初めての傍聴でした。将来教職の道を目指しているため、議会傍聴をしてみて、教育問題の多さと深さに驚きでした。同時に、教育に対して無知なまま関わるといことがあってはならないと思いました。

佐藤 晴菜さん（仙台市在住）

議会には、自分の考えていた以上に市民の声が届いていると感じました。自分たちの意見がどのように扱われているかは、実際に傍聴に来てみないと分からないと感じました。

田畑 樹さん（東田中在住）

なぜ今まで議会を傍聴しなかったのだろうと思うほど興味深いものでした。役所側・議会側との対立で、話し合い・討論があることで市民の生活がより良いものになっていくものだと思います。

東 江里奈さん（東松島市在住）

自分の住む市のものではないが、初めて施政方針を手にとってみて、これから議論をしていく上で、まちのコンセプトを定めておくことは重要だと感じました。

鈴木 希望さん（仙台市在住）



広報特別委員会の一コマ

## 私もひとこと

### 編集後記



編集後記は、毎回委員が交代で記しております。それが現体制後一巡して私の番となりました。毎号、紙面作成の役割をかねて編集にあたっていきますので、委員は一通りの役目は経験したことになります。6人の委員の中には初当選の方がお二人おられます。不慣れな中でも、きちんと仕事をしていただきました。

6人の委員が発行までの諸作業に慣れた、今からが正念場です。市民の皆様に興味を持って読んでいただける市議会だよりの紙面づくりという、大きくて終わりのない課題に取り組まなければなりません。6人がタッグを組んで、知恵と汗を出して、より良い市議会だよりの発行に励む所存です。しかし、そのためには市民の皆様からの感想やアドバイス等が必要です。お気付きの点などありましたら、議会事務局まで、ぜひお寄せください。

（昌浦 泰己）

#### ●広報特別委員会

- 委員長 昌浦 泰己
- 副委員長 戸津川 晴美
- 委員 鈴木 新津男
- 委員 江口 正夫
- 委員 米澤 まき子
- 委員 齋藤 裕子